

羽生市議会議員 ゼロからの挑戦！ ～第2章～

# 中島なおき

無所属



BLOG「ゼロからの挑戦日記。」ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索



福島県双葉郡原発20キロ圏内を視察 局地的に驚くような高線量を示しました。



三鷹の森ジブリ美術館 子ども達と一緒に！



ゆるキャラ®グランプリ2012 ムジナモンと仲間たちに1票を！



藍染議会いじめ根絶決議に対する賛成討論

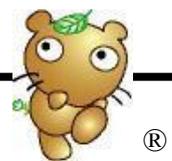


後方には福島第一原子力発電所 1.5キロの距離まで近づきました。



本庄市役所にて吉田市長と対談 行政の危機管理体制と首長哲学を学ぶ

今年もやります！ **議会&活動報告会**



日時 11月10日(土)(予約不要)10:00～11:30

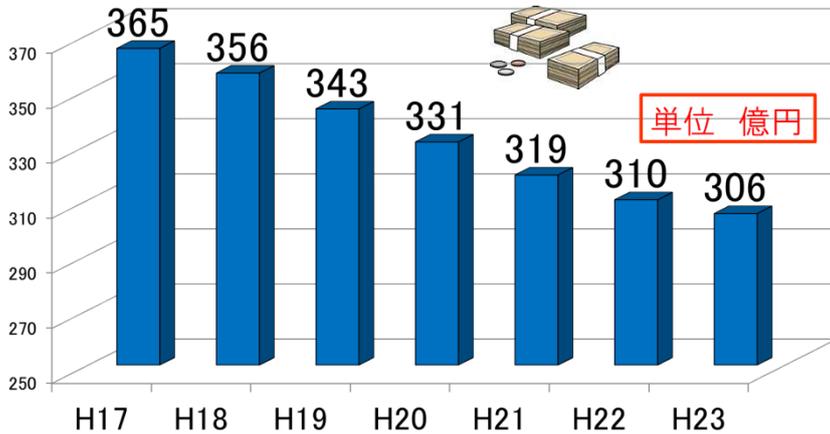
場所 パープル羽生 (女性センター/南 5-4-3) 第3研修室

※ 特定の方を対象とした報告会ではありません。どなたでもお気軽にお集まりください。

# ～平成24年度 藍染議会が終了しました。～

今年も9月定例会は「藍染議会」と称し開会しました。(9/5朝日新聞朝刊に写真掲載。)

市長提出議案として、平成23年度一般会計歳入歳出決算186億4733万7千円(予算現額178億4443万9千円)、特別会計歳入歳出決算、平成24年度補正予算、条例制定、市道路線の認定、廃止などの18議案と諮問3件、議員提出議案1件、請願1件が上程されました。市長提出議案は賛成全員、および賛成多数でそれぞれ認定、可決、承認、同意されました。議員提出議案は賛成多数で可決、請願は賛成少数で不採択となりました。



そして、左表は羽生市の一般会計と特別会計を合わせた23年度決算での借金残高です。6年間で約59億円の残高削減を行ってきました。22年度決算同様、23年度も景気低迷の影響から、財政力指数は若干下がったものの、実質公債費比率、将来負担比率等の各財政指標も改善の数値を示しており、確実に将来への負担を減らしています。



## 藍染議会中島なおき21回目の一般質問

中島なおき 発言録

検索

### ①【小中学校の授業時数の確保について】(要旨)

**Q.** これまでの「ゆとり教育」と称される学習指導要領が改定され、小学校では昨年度から、中学校では今年度から「脱ゆとり教育」と称される新学習指導要領が実施されている。教科書のページ数、授業時数が増えた。しかし、学校の週5日制はそのままであり、全国的に放課後等の児童生徒の活動時間、あるいは教職員と子どもが向き合う時間が取りづらくなつたとの報道もなされている。羽生市の小中学校は空調機が設置されることから、授業時数を確保するため、土曜授業の再開、夏休みを短縮し、余裕をもって学校生活を送れるようにすることを積極的に検討すべきかと考えるが、羽生市教育委員会の見解を伺う。

**A.** 時間割や学校スケジュールの見直しを行い、授業時数の確保は問題なく出来ている。土曜授業を再開する考えはない。夏休みの短縮は行わず、夏休みにしかできない補習授業等を中心に行っていきたいと考えている。

### ②【図書館における乳幼児の対応について】(要旨)

**Q.** 読書習慣を身に付けることの重要性は言うまでもない。子ども達の活字離れや図書館の利用率の低下を食い止めるだけではなく、地域の子育てに貢献するべく、保健的見地から、そして教育的見地から乳幼児の対応に力を入れる公立図書館が増えてきた。それに倣い、羽生市立図書館も乳幼児利用の優先時間を設けるとともに、保護者が子どもを膝の上に乗せ読み聞かせができるスペース、授乳スペースを設置すべきと考えるが羽生市教育委員会の見解を伺う。

**A.** 静粛性をもとめられる施設であるため、乳幼児優先時間を設けることは難しいものと考ええる。2階の視聴覚室、会議室で読み聞かせができる時間を設置したい。防犯上、授乳スペースをあらためて設置することは困難であるため、授乳は事務室に申し出ていただき対応していきたい。



## 中島が見る市政一押し情報

### ①埼玉医療生活協同組合羽生総合病院の新病院建設支援基金

現在地から市内への移転を前提として平成22年度から始まった埼玉医療生活協同組合羽生総合病院の新病院建設支援基金ですが、平成23年度決算確定に伴い、24年度補正予算で1億円の更なる積み増しを行いました。現在の基金総額は約3億円となっています。



### ②悪質滞納者を訴えます。

市営住宅家賃の悪質な滞納者に対し、住宅の明け渡しと滞納家賃の支払いを求める訴えをさいたま地方裁判所に起こします。羽生市では初めて事例となります。

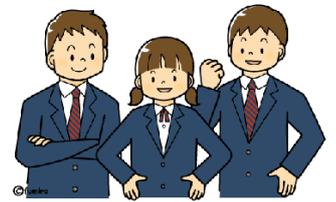


### ③羽生市暴力団排除条例を制定

市民生活の安全と平穏を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与するため、羽生市暴力団排除条例が制定されました。この条例制定は県警察の働きかけにより、現在県内全域に広がりを見せています。

## いじめ根絶をめざす決議が可決！

7月に滋賀県大津市で中学生が自ら命を絶った事件が報道されたことをきっかけに、現在いじめに関する報道が続いています。埼玉県内でも、いじめと思われる殴打で8か月も意識不明のままの中学生の存在が明らかになりました。羽生市議会ではこれらの事態を重く受け止め、議員提出で以下の決議案を上程し、賛成多数で可決しました。以下、決議全文を掲載します。



### 子どもたちの健やかな成長を願い、いじめ根絶を目指す決議

文部科学省が取りまとめた「平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」によると、全国の小中学校におけるいじめの認知件数は、小学校では、3万3124件、中学校では3万749件であり、1000人あたりの認知件数は小学校で4.8件、中学校では8.6件という結果が示されている。

また、小中学生の自殺の状況においては、自殺した児童、生徒が置かれていた状況として「いじめの問題」があったとされた子どもは4人としている。最近では、昨年10月に他県で中学生が尊い命を自ら絶つという痛ましい事件が発生し、現在いじめとの因果関係について、警察の捜査や第三者調査委員会による調査が開始され、社会的に大変大きな衝撃を与えた。

現代の子どもたちを取り巻く環境は、社会の変化と共に多様化している。それに伴い、インターネット上のいじめ、いわゆる「ネットいじめ」といった新たな形態が発生するなど、いじめの様態は複雑化している。それだけに、いじめを未然に防ぎ、早期発見し、解決することは、学校、保護者、教育委員会のみならず、すべての大人が取り組まなければならない重大な課題であると認識する。

豊かな可能性をもった子どもたちは、羽生市の将来を担う極めて大切な存在であり、その健やかな成長は市民全体の願いである。

よって、ここに本市議会は、「いじめを絶対に許さない」という信念をもとに、あらゆる機会を捉え、いじめ根絶を目指して全力で取り組むものとする。

以上、決議する。

平成24年9月28日 羽生市議会

※ この決議に対し、中島は賛成討論を行っています。「ゼロからの挑戦日記。」9/29をご覧ください。

# 防災行政無線の自動応答電話サービスについて

東日本大震災以降、人々の防災行政無線への関心が高まっています。市内でも放送の内容が聞こえない、聞き取りづらいという多くの市民の声をうけ、羽生市はこれまで放送基地の増設、スピーカーの向きや音量の調整など様々な対策をとってきました。しかしながら、難聴地域の改善には至っておりません。(私は防災行政無線の仕組み上、難聴地域の改善は不可能であると考えています。)

そんな状況ではありますが、7月1日より、羽生市は防災行政無線の自動応答電話サービスを始めましたので、ぜひとも有効にご活用ください。電話回線は3回線のみとなっています。放送直後は大変混みあうことが予想されますので、その旨ご理解いただきますようお願いいたします。

自動応答電話サービスも有効ではありますが、私はメール配信サービスの方がより確実に必要な情報を得られると考えています。サービスを受けるために登録が必要です。しかし一度登録を行えば、若干のタイムラグはあるものの、手を煩わすことなく、確実に情報がお手元の携帯電話に届きます。また、防災行政無線の内容だけでなく、以下3つの中から希望のものを選択し情報を得ることが出来ます。



QRコード

- (1) 市民の安全・安心
- (2) 市からのお知らせ
- (3) イベント情報



羽生市 メール配信サービス

検索

☎ 048(562)6111

かけ間違いにご注意ください！！

## 中島なおきの 生きざま

Naoki Nakajima's Profile

- 昭和47年11月生まれ(39歳)
- 184cm 75キロくらい A型
- 趣味:読書 釣り 家庭菜園 写真撮影
- 家族:保育士の妻 長女 次女
- 特技:ギター弾き語り バasketボール ハンドボール
- 第2期若手政治家養成塾副代表 青年地方議員の会会員
- NPO 法人地方議会制度研究センター副代表理事兼研究員



埼玉栄高校普通科、日本福祉教育専門学校社会教育学科 日本大学法学部政治経済学科卒業 神奈川県内の児童福祉施設勤務を経て、鴻巣市社会福祉協議会の職員となる 専修大学で行われた千代田政治経済研究会に参加 同世代の地方議会議員との出会いにより自らも政治の世界に飛び込むことを決意し第1期若手政治家養成塾入塾 平成18年12月鴻巣市社会福祉協議会を覚悟と決意の退職 平成19年4月羽生市議会議員一般選挙にて1,473票を賜り初当選 平成23年羽生市議会議員一般選挙に2度目の立候補 現職無所属候補の全員が前回よりも票を落とす中、2,131票を賜り再選を果たす 平成24年7月NPO法人地方議会制度研究センター発足に伴い副代表理事に就任

※日頃の積極的な活動が新聞、テレビ、雑誌等に大きく取り上げられています。以下紹介

【新聞】:朝日新聞連載「ロストジェネレーション@選挙」【テレビ】:フジ「スタ☆メン」、TBS「総力報道・THE NEWS」【掲載書籍】「ロストジェネレーションの逆襲」朝日新書 「アクセス2008高等学校現代社会」 帝国書院【執筆】公職研 月刊『地方自治職員研修』2010年11月号～議会は変わる～

## ご意見・ご感想大募集

みなさんの声を直接市政に反映させたいと考えております。苦情や批判、要望だけではない建設的なご意見、ご提案をお聞かせください。



【事務所】〒348-0071 羽生市南羽生 4-17-2 ☎ 578-8612 Fax 562-4231

✉:japanist0422@live.jp (匿名のメール、連絡には対応できません。)

このレポートは、他人に委ねる事無く、毎回、中島本人が直接皆様にお届けしています。